

平成29年度特別選抜（社会人入試）

小論文問題

注意事項

- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙を開けてはいけません。
- 2 問題用紙・解答用紙の定められた欄に必ず受験番号と氏名を記入しなさい。
- 3 問題用紙と解答用紙が別々になっています。表紙は切り離さずに解答しなさい。
- 4 問題用紙は表紙を入れて3枚、解答用紙は2枚、下書き用紙が1枚あります。
- 5 解答時間は60分です。
- 6 解答は解答用紙に横書きに記入しなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題 1】 次の文章について以下の設問に答えなさい。

設問 1 下線部について著者はどのようなことを伝えたいのか 200 字以内で説明しなさい。

設問 2 下線部の文章に対するあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

われわれは人生の早い時期に、二つの文化的な原則を学ぶ。最初の、そして最も重要な原則は、二つのグループの間におけるあらゆるコミュニケーションが、相互的なプロセスであるべきだということだ。または少なくとも、公平で適正なものでなければならない。人は社会経済のルールを覚えて初めて社会を乗り切り、心地よく暮らすことができる。最も簡単な事例をあげるなら、物をもったり、何らかの意味で贈り物と見なされるものを受け取ったりしたとき、「ありがとう」と言わなければならないと、子供が学ぶことだ。「ありがとう」という言葉は返礼であり、お返しの行為である。それが意思の疎通を密にし、相互関係を公平で適正なものにする。同様に、話しかけられたときには注意を払わねばならないことも子供は覚える。「払う」という言葉は、相手は何らかの価値を持った情報や説明を提供していることを認めたものだ。いずれわかるだろうが、人はあらゆる人間関係で返礼を期待している。返礼をしなければ、腹を立てる人が出てくるし、関係の悪化につながるだろう。

出典：エドガー・H・シャイン著，金井壽宏 監訳，金井真弓 訳，

『人を助けるとはどういうことか 本当の「協力関係」をつくる7つの原則』

英治出版株式会社，2009年 より一部抜粋